

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
B104	地理学概論	1年	講義	2	西山弘泰
<b>授業概要</b> 地理学には系統地理学と地誌学がある。地誌学は、諸地域の特徴を諸条件の相互関係から明らかにしようと試みる。それに対して本講義に該当する系統地理学は、ある現象について空間的に異なる地域と比較したときに、空間的制約が同じ現象にどのような変化をもたらしているのかということを探り明かそうと試みるものである。本講義では、都市景観や構造、人々の行動、産業などの地域的差異を、地理的（空間的）視点から読み解いていく。					
<b>到達目標(学習の成果)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校で社会科関連教職免許取得しようとする学生が、授業を行うにあたって心得ておくべきと思われる基本的な知識や技術が習得できる</li> <li>・世界中で起こっているさまざまな事象について学ぶことで幅広い教養を身に付けることができる (DP1)</li> <li>・地理学的な視点でさまざまな事象の分布傾向やその法則性を分布図やグラフなどから読み取ることができる (DP2)</li> </ul>					
<b>授業計画</b>					
回	表題	学修内容			
1	地理学の考え方・捉え方	地理学とはなにか:地理学が社会で貢献できること			
2	地理学の活用	行政、民間企業におけるGIS(地理情報システム)の活用			
3	人口の地理学(1)	戦後日本の人口移動とその分布、栃木県の人口分布と将来推計			
4	行政の地理学	自治体のサービス供給とその地域格差:平成の大合併を事例に			
5	農村の地理学(1)	さまざまな村落形態とその成立背景			
6	農村の地理学(2)	村落の社会・空間構造と景観			
7	都市の地理学(1)	都市の成立背景と発達過程:宇都宮市を事例に			
8	都市の地理学(2)	さまざまな都市形態			
9	都市の地理学(3)	都市の内部地域構造			
10	社会の地理学(1)	空間からみる社会的不平等:ジェンダー、外国人、障がい者			
11	社会の地理学(2)	日本における地域労働市場と労働力移動			
12	社会の地理学(3)	都市地域における人々の日常生活			
13	経済の地理学(1)	古典的立地論:農業立地論、工業立地論			
14	経済の地理学(2)	コンビニエンスストアの経営システムと立地展開			
15	文化の地理学	言語・宗教における伝播の過程とその範囲			

準備学修(授業外の自己学修)

新聞記事を毎日読む習慣を付け、より幅広い社会事情について興味関心を持ってほしい。

成績評価の方法・基準(%表記)

毎回授業中に行うワークシートの取り組み状況(50%)と期末テスト(50%)で判断する。

観点	S	A	B	C
世界中で起こっている社会事象に対する理解	完全に理解している	ほぼ完全に理解している	十分に理解している	一定程度理解している
地理学的な視点でさまざまな事象の分布傾向やその法則性を読み取る能力	完全に読み取ることができる	ほぼ完全に読み取ることができる	十分に読み取ることができる	一定程度読み取ることができる

教科書

なし。

参考書等

野間晴雄・香川貴志・土平博・河角龍典・小原文明 編著 (2012) 『ジオ・パルNEO—地理学・地域調査便利帖』、海青社。  
上野和彦・椿真智子・中村康子 編著 (2007) 『地理学概論 地理学基礎シリーズ〈1〉』、朝倉書店。  
その他、その適宜参考文献を紹介する。

履修上の注意・学修支援

本講義は講義形式ではあるが、学生には主体的な参加を期待したい。授業中に学生に対してできるだけ問いかけを行うよう努める。逆に学生に対しては感じたこと、疑問に思ったことがあれば講義中であっても発言を許可したい。